

初優勝を飾った長野ガーフJrイレブン



長野ガーフJr初優勝

全日本少年サッカー県大会

2日 松本市(ルワン)

▽決勝戦(20分ハーフ)

長野ガーフJr 延長0-0 永明

▽得点者：上倉(長)

制した勝利を飾った。優勝の末、大会初優勝を飾った。延長前半2分、

倉全(DF佐藤雅峻(城全東小6年)が「絶

界に入った前線のFW土

倉通(大豆島小6年)めがけて自陣

蹴り出した。受けた土倉が相手DFをかわずと、右足を振り抜きゴールネットを揺らした。「うれしかった。チームのために決めました」と仲間とともに歓喜に沸いた。この1点が決勝点になり悲願の栄冠を手に入れた。12年ぶりのベスト4入りを果たし、準決勝から勝ち上がったのは1時間前。宮沢健治監督(52)は「高い湿度の中の連続、よく頑張ってくれた。ここまで来るとは思わな

った」と選手を称えた。

前からの速いプレスに、中盤でボールを回してつなぐ意識を持って戦い抜いたイレブン。見事なコンビプレーで決勝点を挙げた2人は、口をそろえながら「全国でも優勝を狙います」と仲間の気持ちを代弁した。長野ガーフJrは、8月1日にJウィレッジ(福島)で開幕する全日本選手権に県代表として出場する。あと一歩も90点

○その他の結果…○

▽準決勝

長野ガーフJr 3-0 茅野市市永明 1-1 南箕輪(PK5-4)

ていたがあと一歩のところで逃した。「相手の守備力は素晴らしかった」と話した青柳力監督(45)は「皆、自分たちの勝ちたい気持ちを前面に出してやってくれた。90点です。次のチャロベルト杯で活躍してくれたら満点です」と過去最高のベスト16超えを果たしたイレブンを称賛した。